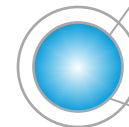


2010年12月期 通期決算説明資料

株式会社アウトソーシング
(JASDAQ 2427)
2011年2月



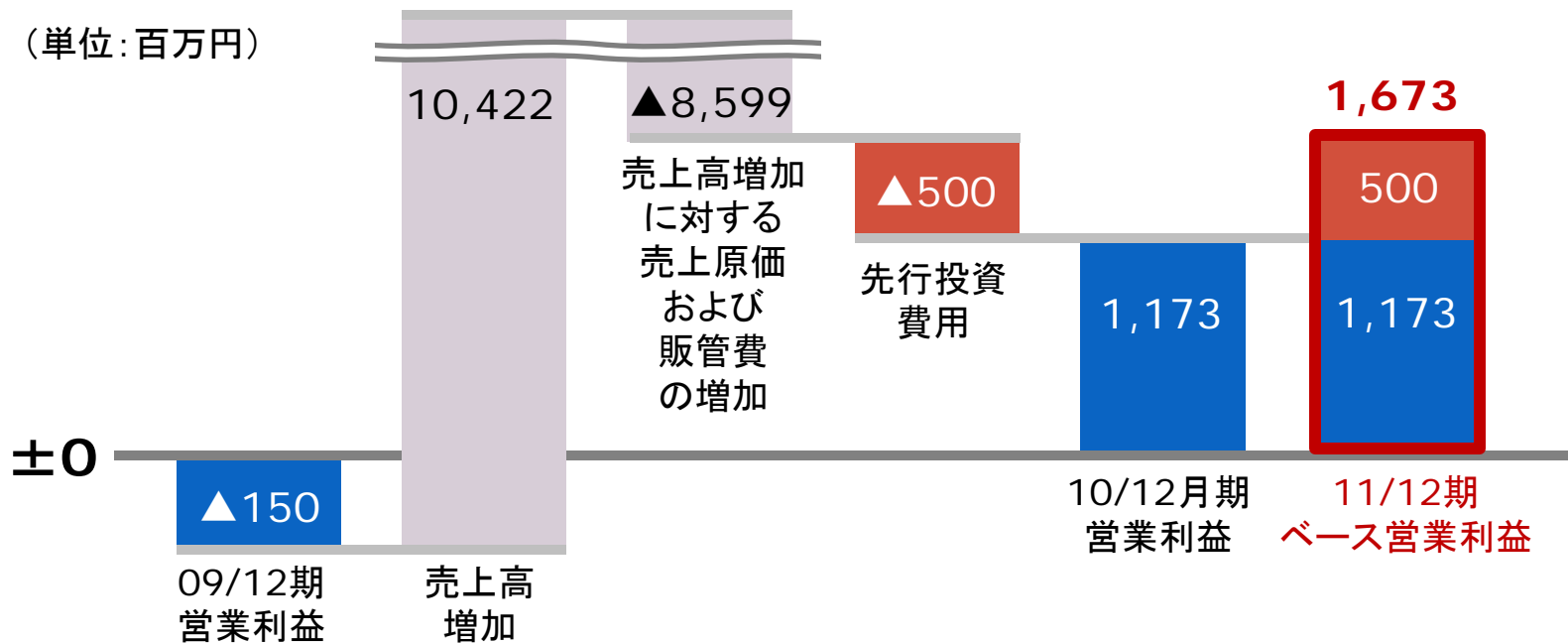
- P3 2010年12月期 決算概要
- P12 中期経営ビジョン
- P17 2011年12月期 アウトソーシンググループ戦略
- P23 2011年12月期 業種別グループ戦略
- P28 2011年12月期 業績予想
- P32 参考資料

2010年12月期 決算概要



2010年12月期 連結業績ハイライト

- 市場回復を上回るペースで業績を拡大し、大不況前の過去最高売上高を更新
 - 売上高 前年比 58.0%増
- トップライン拡大に向けた、先行投資費用を約500百万円計上するも、営業利益を大幅黒転
 - 営業利益以下、各種利益の過去最高益を更新



今期以降における、業績拡大と利益拡大の体制強化を同時実現

2010年12月期 連結業績の概要

(百万円)	2009年12月期 通期		2010年12月期 通期		前年同期比		増	減	予想対比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率			金額	率
売上高	17,964	100.0%	28,386	100.0%	10,422	58.0%			△ 113	-0.4%
売上原価	14,578	81.1%	22,378	78.8%	7,800	53.5%			-	-
売上総利益	3,386	18.9%	6,007	21.2%	2,621	77.4%			-	-
販売管理費	3,536	19.7%	4,834	17.0%	1,297	36.7%			-	-
営業利益	△ 150	-0.8%	1,173	4.1%	1,323	n.a			△ 426	-26.7%
営業外収益	318	1.8%	634	2.2%	316	99.1%			-	-
営業外費用	146	0.8%	407	1.4%	260	177.7%			-	-
経常利益	22	0.1%	1,401	4.9%	1,379	6229.1%			△ 398	-22.1%
特別利益	6	0.0%	213	0.8%	207	3289.1%			-	-
特別損失	205	1.1%	126	0.4%	△ 78	-38.3%			-	-
当期純利益	△ 215	-1.2%	760	2.7%	975	n.a			△ 289	-27.6%

2010年12月期 連結業績の推移 (四半期)

(百万円)	2009年12月期				2010年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	4,007	3,725	4,397	5,832	6,282	6,557	7,410	8,137
売上総利益	487	687	877	1,332	1,282	1,262	1,615	1,848
粗利率	12.2%	18.5%	20.0%	22.9%	20.4%	19.2%	21.8%	22.7%
販売管理費	791	758	826	1,159	1,154	1,134	1,237	1,309
販管费率	19.7%	20.4%	18.8%	19.9%	18.4%	17.3%	16.7%	16.1%
営業利益	△ 303	△ 70	51	172	128	128	378	539
営業利益率	-7.6%	-1.9%	1.2%	3.0%	2.0%	2.0%	5.1%	6.6%
経常利益	△ 274	△ 32	90	238	207	172	444	578
経常利益率	-6.9%	-0.9%	2.1%	4.1%	3.3%	2.6%	6.0%	7.1%
当期純利益	△ 190	△ 211	43	143	111	50	214	385
当期純利益率	-4.7%	-5.7%	1.0%	2.5%	1.8%	0.8%	2.9%	4.7%

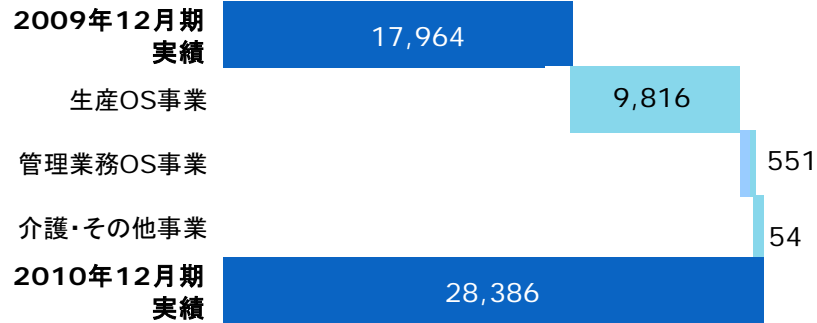
対前四半期 変化率	2009年12月期				2010年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	-31.3%	-7.0%	18.0%	32.6%	7.7%	4.4%	13.0%	9.8%
売上総利益	-56.6%	41.1%	27.6%	51.8%	-3.8%	-1.6%	27.9%	14.4%
販売管理費	-2.1%	-4.1%	8.9%	40.4%	-0.5%	-1.7%	9.1%	5.8%
営業利益	-	-	-	236.7%	-25.6%	-0.2%	194.5%	42.5%
経常利益	-	-	-	162.4%	-12.8%	-17.0%	157.8%	30.1%
当期純利益	-	-	-	232.3%	-22.1%	-54.4%	321.3%	79.9%

2010年12月期 セグメント別売上高/営業利益の概要

売上高増減内訳

【前年同期比】

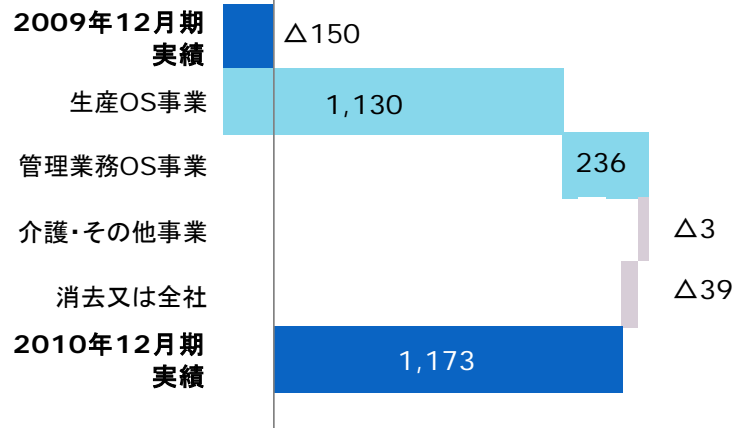
(単位:百万円)



営業利益増減内訳

【前年同期比】

(単位:百万円)



セグメント別 四半期業績の推移

(百万円)		2009年12月期				2010年12月期			
		実績 1Q	実績 2Q	実績 3Q	実績 4Q	実績 1Q	実績 2Q	実績 3Q	実績 4Q
生産 アウトソーシング事業	期末外勤社員数(人)	4,824	4,559	5,030	6,109	6,223	6,192	6,674	7,434
	売上高	3,908	3,548	4,174	5,569	6,020	6,245	6,984	7,767
	営業利益	△ 300	△ 89	11	160	112	94	293	413
管理業務 アウトソーシング事業	売上高	7	36	54	85	80	161	276	218
	営業利益	0	15	16	5	9	36	94	134
介護事業	売上高	35	100	104	107	118	108	125	120
	営業利益	8	19	19	21	28	22	27	22
その他事業	売上高	56	40	64	70	63	41	23	35
	営業利益	6	0	8	6	5	0	△ 9	△ 7
消去又は全社	営業利益	△ 17	△ 17	△ 4	△ 20	△ 26	△ 26	△ 28	△ 20
合計	売上高	4,007	3,725	4,397	5,832	6,282	6,557	7,410	8,137
	営業利益	△ 303	△ 70	51	172	128	128	378	539

2010年12月期 業界別業績の推移（四半期）

(百万円)	2009年12月期				2010年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
生産アウトソーシング事業	3,908	3,548	4,174	5,569	6,020	6,245	6,984	7,767
電気機器関係	994	1,081	1,052	1,614	1,754	2,074	2,277	2,422
食品関係	1,044	873	843	675	510	478	500	544
輸送機器関係	465	261	751	1,332	1,564	1,488	1,826	2,514
化学・薬品関係	849	810	938	1,070	1,017	975	1,055	1,060
金属関係	119	52	61	98	72	59	59	80
その他	435	467	527	777	1,100	1,167	1,264	1,153

(構成比)	2009年12月期				2010年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
生産アウトソーシング事業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
電気機器関係	25.4%	30.5%	25.2%	29.0%	29.1%	33.2%	32.6%	31.2%
食品関係	26.7%	24.6%	20.2%	12.1%	8.5%	7.7%	7.2%	7.0%
輸送機器関係	11.9%	7.4%	18.0%	23.9%	26.0%	23.8%	26.1%	32.4%
化学・薬品関係	21.7%	22.8%	22.5%	19.2%	16.9%	15.6%	15.1%	13.6%
金属関係	3.0%	1.5%	1.5%	1.8%	1.2%	0.9%	0.8%	1.0%
その他	11.1%	13.2%	12.6%	14.0%	18.3%	18.7%	18.1%	14.8%

2010年12月期 連結貸借対照表の概要

【資産】	2009年12月期		2010年12月期		前年同期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	5,697	60.8%	6,948	64.9%	1,251
（現金・預金）	2,050	21.9%	1,731	16.2%	△ 319
（受取手形・売掛金）	3,018	32.2%	4,182	39.1%	1,163
（たな卸資産）	136	1.5%	78	0.7%	△ 57
固定資産	3,664	39.1%	3,756	35.1%	91
有形固定資産	2,195	23.4%	2,075	19.4%	△ 119
無形固定資産	676	7.2%	699	6.5%	23
投資その他の資産	792	8.5%	981	9.2%	188
資産合計	9,365	100.0%	10,707	100.0%	1,342
流動負債	4,445	69.1%	5,335	73.8%	889
（支払手形・買掛金）	20	0.3%	16	0.2%	△ 3
（短期借入金等）	2,123	33.0%	1,689	23.4%	△ 433
（未払い金）	1,333	20.7%	1,611	22.3%	278
固定負債	1,986	30.9%	1,896	26.2%	△ 89
（社債・長期借入金）	1,185	18.4%	981	13.6%	△ 204
負債合計	6,432	100.0%	7,232	100.0%	799
株主資本	2,857	30.5%	3,323	31.0%	465
資本金	483	5.2%	483	4.5%	0
資本剰余金	879	9.4%	880	8.2%	0
利益剰余金	1,713	18.3%	2,350	22.0%	637
自己株式	△ 218	-2.3%	△ 391	-3.7%	△ 172
評価・換算差額等	△ 1	0.0%	2	0.0%	4
新株予約権	49	0.5%	53	0.5%	4
少数株主持分	27	0.3%	95	0.9%	67
純資産合計	2,933	31.3%	3,475	32.5%	542
負債純資産合計	9,365	100.0%	10,707	100.0%	1,342

• 子会社の取得、および事業規模拡大に伴う売上債権の増加

• 短期借入金返済による減少

• 子会社の取得、および事業規模拡大に伴う未払給与等の増加

• 自己株式の取得による増加

M&Aによる増減額（百万円）

• ニッソーサービス取得 + 1,701
 • わらべうた売却 ▲ 89
 • ミストラルサービス売却 ▲ 405

2010年12月期 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)	2009年12月期	2010年12月期	前年同期比
	金額	金額	金額
税金等調整前当期純利益	△ 177	1,488	1,665
減価償却費	211	266	55
のれん償却額	67	129	62
負ののれん償却額	△ 104	△ 155	△ 51
売上債権の増減額	595	△ 954	△ 1,549
仕入債務の増減額	△ 757	202	959
その他	△ 301	△ 211	89
営業活動による キャッシュ・フロー合計	△ 465	765	1,231
投資活動による キャッシュ・フロー合計	△ 8	436	444
借入金の増減額	794	△ 757	△ 1,551
自己株式の取得による支出	0	△ 172	△ 172
配当金の支払額	△ 72	△ 95	△ 23
その他	△ 53	△ 96	△ 43
財務活動による キャッシュ・フロー合計	668	△ 1,121	△ 1,790
合併に伴う現金及び 現金同等物の増減額	848	-	△ 848
現金及び現金同等物の 期末残高	1,634	1,713	78

- 売上高増加に伴う売上債権の増加

- 事業規模拡大に伴う未払給与等の増加

- 子会社ニッソーサービスの取得による増加

- 借入金の返済による減少

中期経営ビジョン



中期経営環境見通し

● 中期市場環境見通し

国内市場

- 人口減少による消費の伸び悩み
- 円の高止まり、高率の法人税、CO2削減等の高コスト構造による国際競争力低下
- 派遣法改正案等による規制強化

グローバル市場

- 人口増加、各種産業の成長による新興国の消費拡大

● 国内メーカーの選択と課題

①国内生産の継続

- 円高を伴う新興国メーカーとの競争激化による更なるコスト削減

②海外への進出

- 移管先の多国化に伴う法規制、インフラ、民族性等の多様化・複雑化によるノウハウ不足

● 課題から発生する、業者に対する新たなメーカーニーズ

- 従来の、生産変動対応に加え、技術分野から一括して委託することにより、生産効率を向上させる高度なアウトソーシングニーズ

- 海外進出時における多様性、複雑性に対応したアウトソーシングニーズ

製造業における産業構造の改革期と、メーカーニーズが短周期で大きく変化する時代の到来において、新たなメーカーニーズに応えられる業者は国内外で業績拡大

量的拡大

業界淘汰が進む生産アウトソーシング市場におけるシェアアップ

- 国内営業基盤拡大投資
(営業・管理要員拡大、営業拠点拡大等)
- 海外市場進出投資
(海外子会社拡充等)
- 国内採用体制拡大投資
(採用拠点拡大、採用担当増員、等)

質的向上

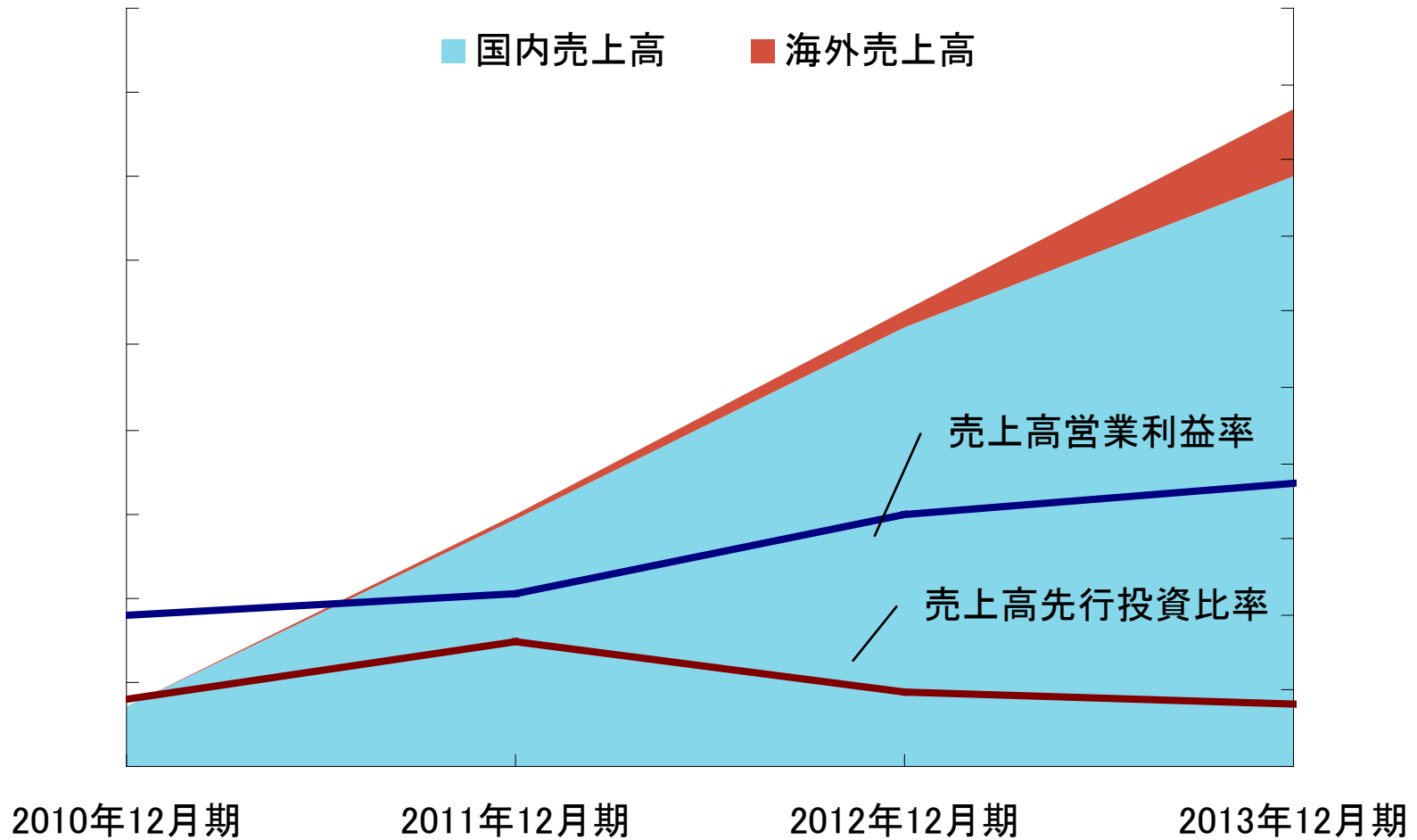
新たな生産効率向上のためのソリューションを創出・提供

- 高い専門性を持つ一括受託体制構築のためのグループ・リエンジニアリング投資
- 事業インフラ強化のためのブランディング戦略投資、M&A戦略投資

中期基本方針

コストコントロールによる目先の利益確保よりも、積極的先行投資を継続し、量と質の向上を伴うトップラインの拡大により、盤石な事業基盤を確立する

中期業績推移のイメージ



2020年12月期において海外売上高比率を50%まで拡大する

中期経営目標

● 2008年度 生産アウトソーシング業界順位

■ 総合順位(製造系・技術系)

順位	企業名	売上高	決算月	上場
1	A社	5,843	6月	非上場
2	B社	1,570	3月	非上場
⋮				
15	アウトソーシング	241	12月	JQ

■ 技術系順位

(単位:億円)

順位	企業名	売上高	決算月	上場
1	C社	821	3月	東一
⋮				
—	アウトソーシング	22	12月	JQ

● 2010年度 生産アウトソーシング業界順位

■ 総合順位(製造系・技術系)

順位	企業名	売上高	決算月	上場
1	C社	538	3月	東一
⋮				
8	アウトソーシング	283	12月	JQ

■ 技術系順位

(単位:億円)

順位	企業名	売上高	決算月	上場
1	C社	538	3月	東一
⋮				
9	アウトソーシング	77	12月	JQ

※ 各社開示資料、帝国データバンクの資料をもとに当社作成

リーマンショック後において、業界古参の大手非上場業者が大きく売上を減少する中、当社グループは、減収から一転、過去最高売上高を更新し業界トップを視野に入れる

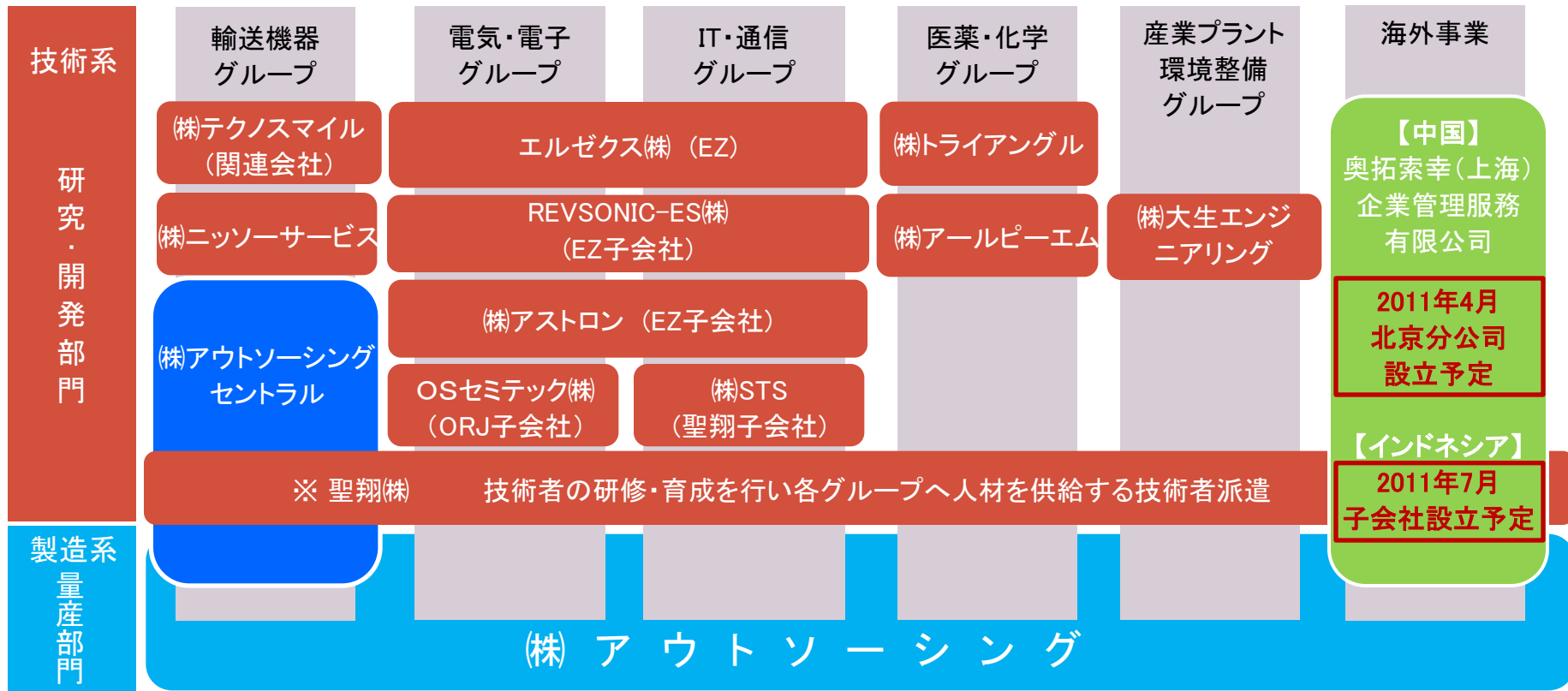
2013年度12月期において、国内生産アウトソーシング業界No1を目指す

2011年12月期 アウトソーシンググループ戦略



- 業種別に研究・開発から量産部門までの一括受注体制を、同業他社に先駆け確立

生産アウトソーシング事業



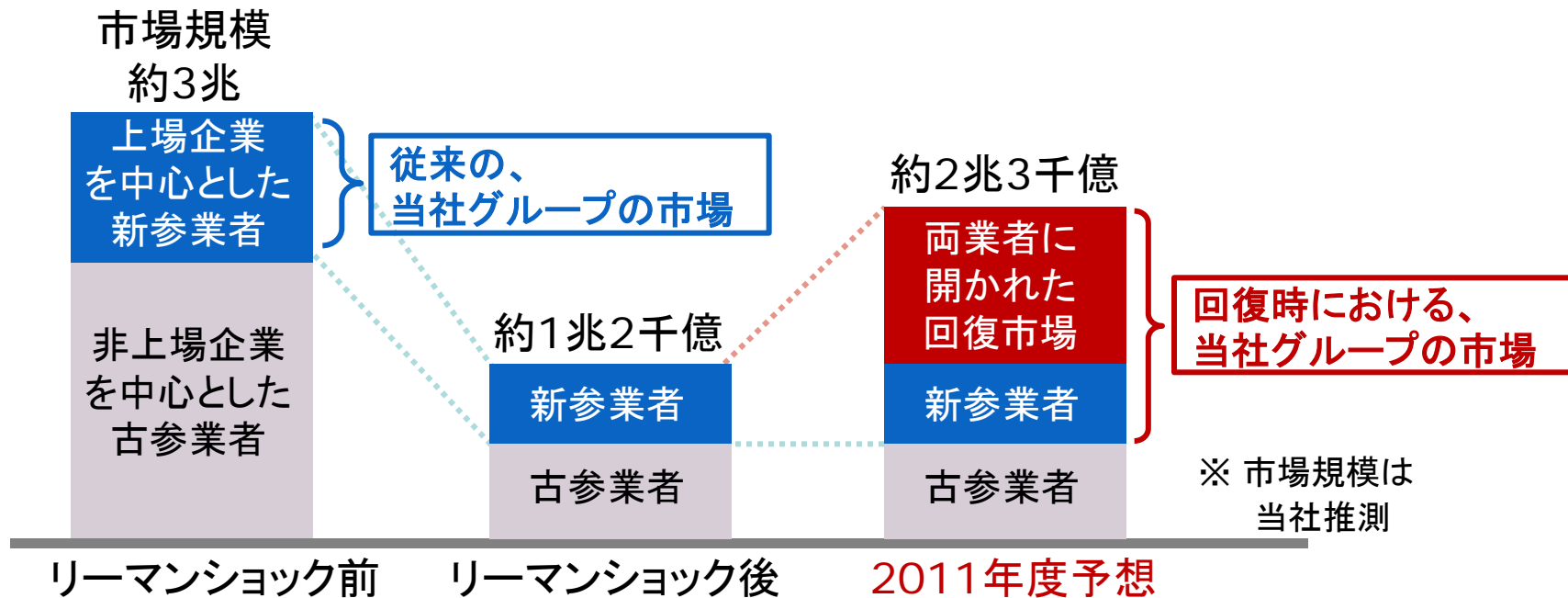
管理業務
アウトソーシング事業

(株)ORJ

※ 聖翔(株)は、2011年4月1日付にて、
(株)アウトソーシングテクノロジーに社名変更予定

生産アウトソーシング業界における市場規模の変化

- リーマンショック前においては、非上場企業を中心としたいわゆる古参業者が、業界の主要業種である輸送機器や電気・電子分野を中心に、市場の約7割を独占



- 当業界の主要顧客である大手メーカーの業績予想から、市場は大幅回復
- 回復する市場の中心は、従来古参業者の独占市場であり、新参業者にとっては、新たな市場の出現

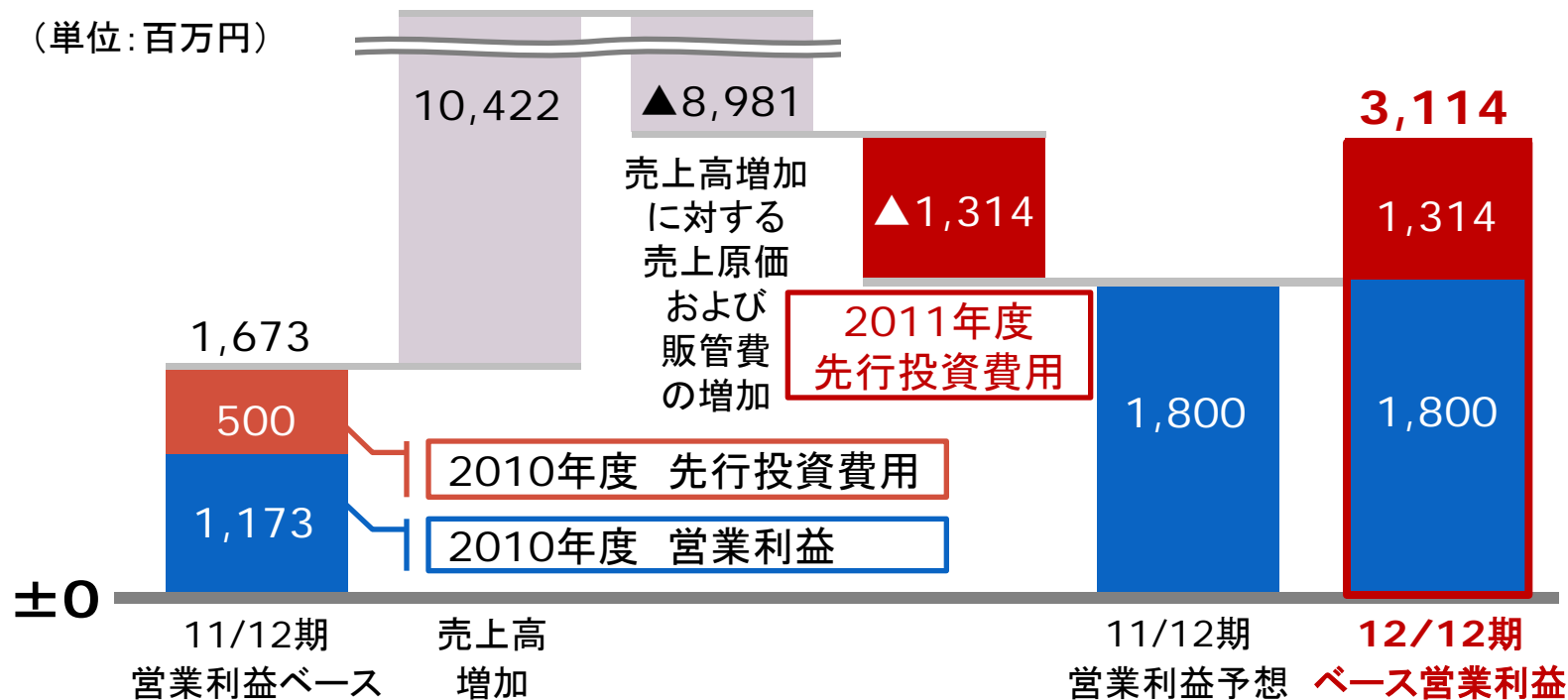
2010年度において、同業他社が事業体制を縮小するなか、当社グループは景気回復を見越し、先行投資を拡大し受注体制を強化済み

2011年12月期 先行投資計画

- 2010年度に引続き、市場の回復期である2011年度においても、受注獲得のための先行投資を拡大

- 国内重点施策に対する先行投資 : 784百万円
- 海外重点施策に対する先行投資 : 530百万円

(単位:百万円)



国内市場の回復に対する更なる営業及び受注体制強化と、海外事業基盤の整備・強化に、先行投資を拡大

● 国内重点施策

- 主要3業種における、更なる一括受託体制の強化
 - ◆ 戦略的M&Aの推進
 - ◆ 主要管理者、技術者、営業人員等の招聘、採用による増員
 - ◆ 新たなサービス創出に対する設備投資等

- 管理部門・営業基盤、および業界一の採用体制構築に向けた強化

連結	10/12期 実績	11/12期 予想
営業拠点数	39拠点 (前年比+8拠点)	50拠点 (前年比+11拠点)
採用拠点数	14拠点 (前年比+11拠点)	24拠点 (前年比+10拠点)

- ブランディング戦略
 - ◆ Jリーグ清水エスパルスのホームスタジアムおよびユニフォームへの当社社名の掲出をはじめ、知名度向上に向けた広告拡大
 - ◆ グループ社名の『アウトソーシングブランド』への統一
 - ・ 2011年4月1日付にて、子会社聖翔(株)を、(株)アウトソーシングテクノロジーに変更予定

● 海外重点施策

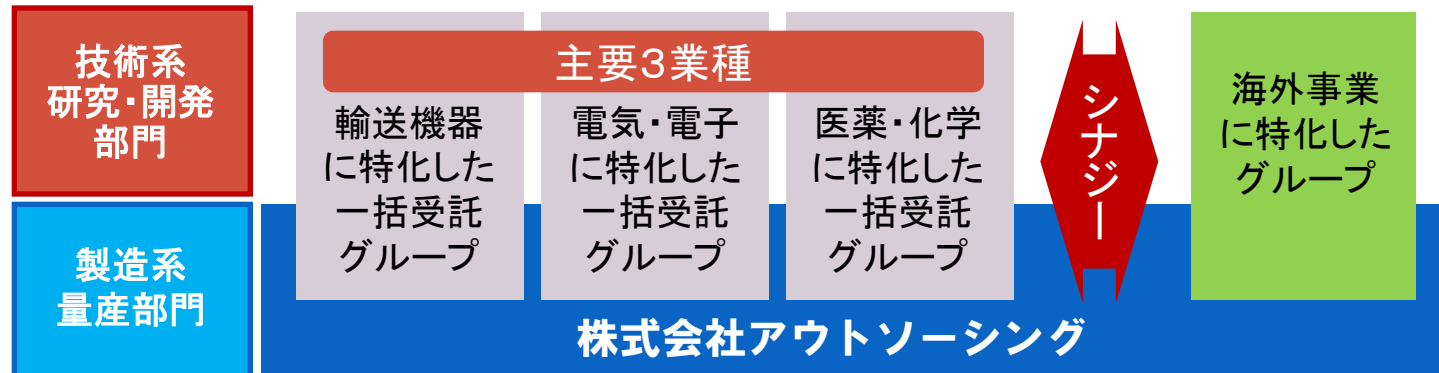
- 子会社の海外拠点の強化・展開
- 既存海外子会社及び拠点の強化

2011年度	上期	下期
海外拠点既存先での増員数	8人	23人

- 本体(アウトソーシング)による、当社グループの生産アウトソーシングサービスを、海外展開するための体制整備、およびグループ間でのシナジー創出

◆ 特に、海外関連事業に向けた先行投資を積極投下

■ トップライン拡大に向けたグループ体制



2011年12月期 業種別グループ戦略



輸送機器グループ

● 事業領域と事業展開

	従来の、メーカー人事施策	当社グループによる受注範囲
開発・設計	技術者派遣を活用	輸送機器グループ (アウトソーシングセントラル、 ニッソーサービス) による一括受託
実験・評価	メーカー、及びグループ会社での対応 (一部、技術者派遣活用)	
量産	製造請負、製造派遣を活用	子会社ORJによる、 期間社員の採用代行から 管理業務の一括受託
	期間社員によるメーカー直接雇用	

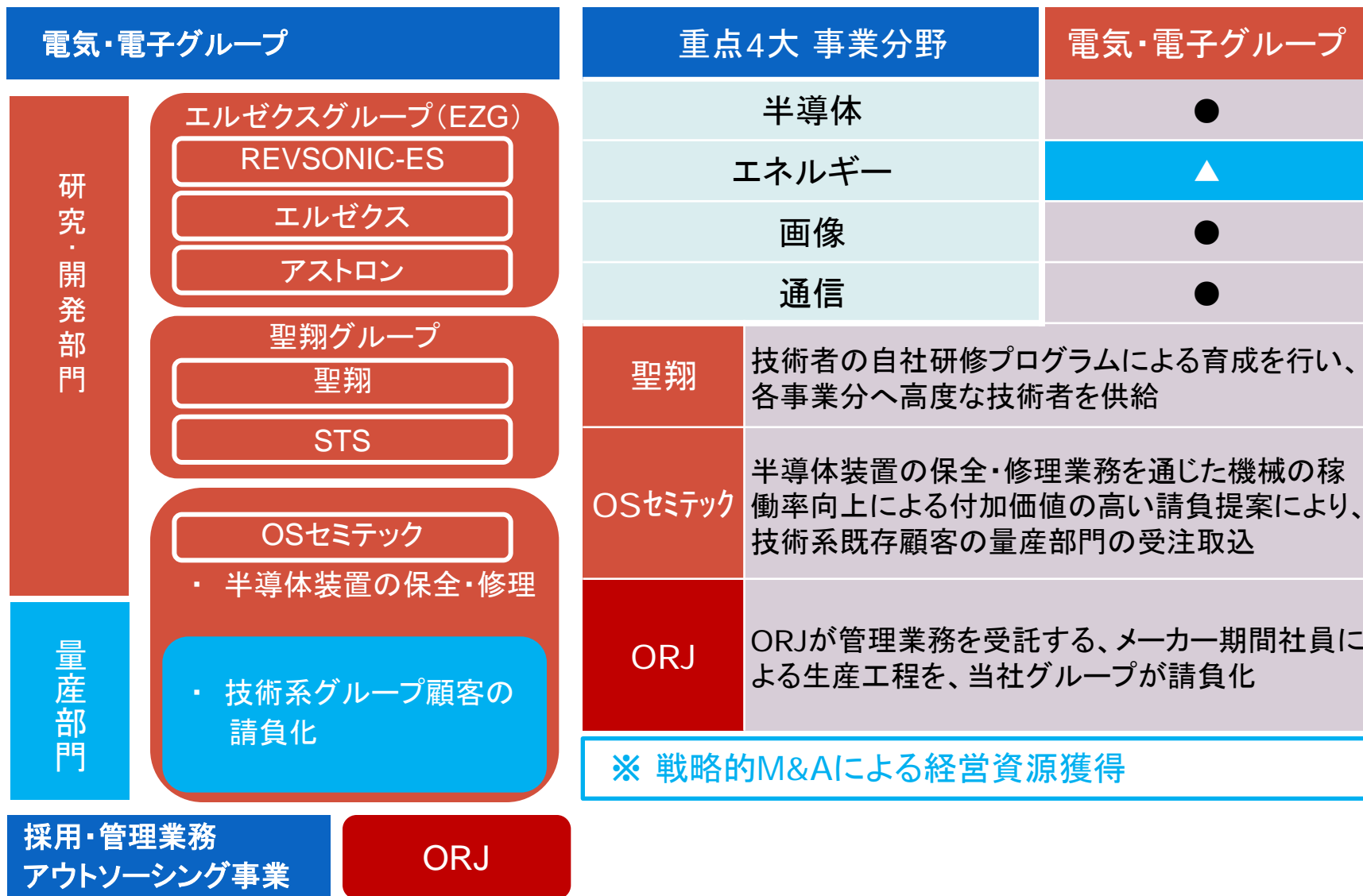
□ 2011年度 重点施策

- ・ 新規顧客獲得 : 自動車の二大生産地域となる東北地方および九州地方への積極的な拠点開設による営業体制の強化
- ・ 既存顧客深耕 : 国内における主要自動車メーカー、部品メーカーに対して、技能系業務(実験・評価～生産)の掘り起こしと一括請負化の推進
- ・ 海外展開 : 市場の拡大する中国、インドネシア、インド、タイ等への進出、及び準備

エンジン(内燃機関)からハイブリッド車・電気自動車への移行後も必要とされ続ける業務をターゲットとし、早期の一括受託を実現

電気・電子グループ

● 事業領域と事業展開



※

医薬・化学グループ

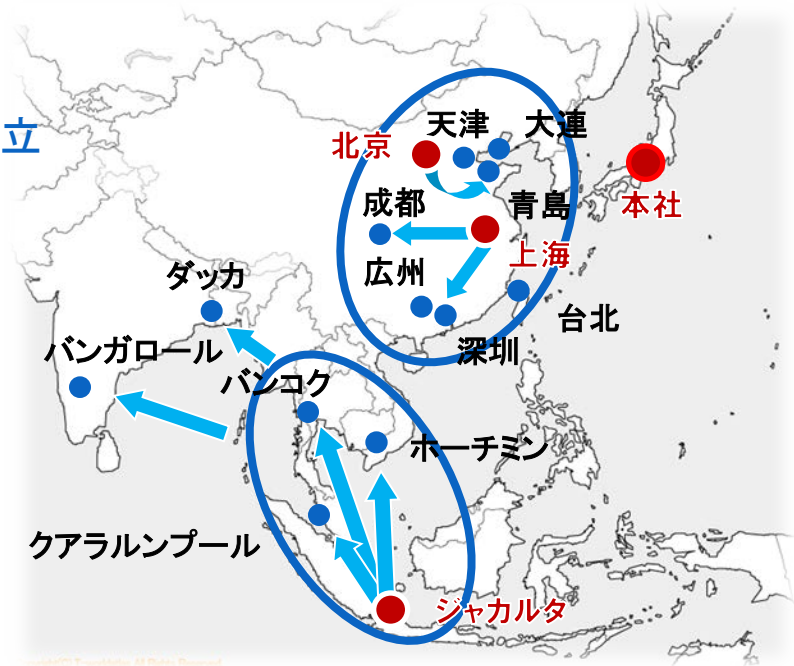
● 医薬・化学グループ(トライアングル、RPM)における事業展開

	医薬・化学グループによる 部門別事業展開	先行投資による事業拡大
研究部門	自社ラボを保有、提携によるレンタルラボで、技術者派遣だけでなく受託事業を展開	研究・開発支援企業R社との提携による『トライアングル賞』の設立により研究部門における技術者を育成し、その後採用
開発部門	下期における治験実施施設の提携先拡大と、施設提供後の量産部門における受託の拡大	治験におけるデータマネジメント(DM)のスタンダードシステム、『クリントライアル』導入による、DM業務の受注拡大
量産部門	医薬の専門知識を擁する生産技術者での対応が必要な量産部門への対応	U社秋田工場での派遣、人材紹介開始と岐阜工場大口案件での受注獲得
営業部門	MR派遣を中心に、医薬品・医療機関等の営業活動、マーケティングを受託	当社グループで上市に関わった医薬品のMR派遣を中心に事業拡大
+		
治験対応病院との契約	製薬メーカーの、治験における開発病院の不足に対し、当社契約の治験対応病院を紹介することで、紹介手数料に加え臨床開発とその後の量産部門を一括受託	

研究・開発から量産部門までの受託、さらに営業・販売支援までの一括サービスの提供できる総合ヘルスグループを構築する

● アジア人材ネットワーク構築に向けた事業戦略

- 2011年4月 中国(上海)子会社の北京支店設立
 - 中国人材ネットワーク強化
- 2011年7月 インドネシア子会社設立
 - 東南アジア人材ネットワークスタート
- 2011年下期 ベトナム、タイへの事業拡大
 - 東アジア人材ネットワークの強化



● 2011年度 重点施策

- 人材バンクの強化 : 自動車、電気・電子関係の国内シニア人材の活用
 - コンサルタントチーム編成、現地派遣による海外サポートセンター構築
- 上海、北京を拠点に、中国の主要都市へ事業展開
- インドネシア子会社を拠点に、近隣諸国への展開促進

2020年12月を目途に、アジアでのグループネットワーク確立とともに、グループにおける海外売上比率を50%まで拡大する

2011年12月期 業績予想



主要子会社別 四半期業績予想

	(百万円)	2010年12月期 実績 通期	2011年12月期 予想				
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期
アウトソーシング	売上高	17,270	4,393	4,913	6,108	7,598	23,012
	営業利益	916	113	138	200	394	845
アウトソーシングセントラル ニッソーサービス	売上高	4,282	1,523	1,529	1,702	1,759	6,513
	営業利益	83	36	32	53	84	205
聖翔グループ(※1) エルゼクスグループ(※2)	売上高	4,809	1,260	1,502	1,634	1,685	6,081
	営業利益	19	50	85	91	113	339
トライアングル アールピーエム	売上高	478	181	250	308	349	1,088
	営業利益	△ 89	△ 3	17	38	52	104
ORJグループ(※3)	売上高	961	567	822	958	1,100	3,447
	営業利益	218	80	130	82	118	410
その他(※4)	売上高	377	101	126	152	189	568
	営業利益	17	1	△ 3	14	37	49
内部消去	売上高	△ 313	△ 139	△ 178	△ 202	△ 190	△ 709
消去又は全社	営業利益	△ 100	△ 38	△ 38	△ 38	△ 38	△ 152
合計	売上高	27,864	7,886	8,964	10,660	12,490	40,000
	営業利益	1,064	239	361	440	760	1,800

(※1) 孫会社STS含む

(※2) 孫会社REVSONIC-ES、アストロン含む

(※3) 孫会社OSセミテック含む

(※4) 大生エンジニアリング、奥拓索幸(上海)企業管理服務有限公司

セグメント別 四半期業績予想

	(百万円)	2010年12月期		2011年12月期			
		実績 通期	1Q	2Q	予想 3Q 4Q 通期		
生産 アウトソーシング事業	期末外勤社員数(人)	7,434	7,357	8,955	11,383	13,552	—
	売上高	27,016	7,680	8,679	10,360	12,233	38,952
	営業利益	912	185	272	398	708	1,563
管理業務 アウトソーシング事業	採用代行人数(人)	2,349	950	1,490	1,180	800	4,420
	期末管理人数(人)	3,079	3,500	3,800	4,500	5,300	—
	売上高	735	313	428	462	401	1,604
	営業利益	273	91	125	76	84	376
その他	売上高	※ 634	32	35	40	46	153
	営業利益	※ 87	1	2	4	6	13
内部消去	売上高	-313	-139	-178	-202	-190	-709
消去又は全社	営業利益	-100	-38	-38	-38	-38	-152
合計	売上高	28,386	7,886	8,964	10,660	12,490	40,000
	営業利益	1,173	239	361	440	760	1,800

※ 2010年12月期に売却したわらべうた、ミストラルサービスの売上高および営業利益を含む

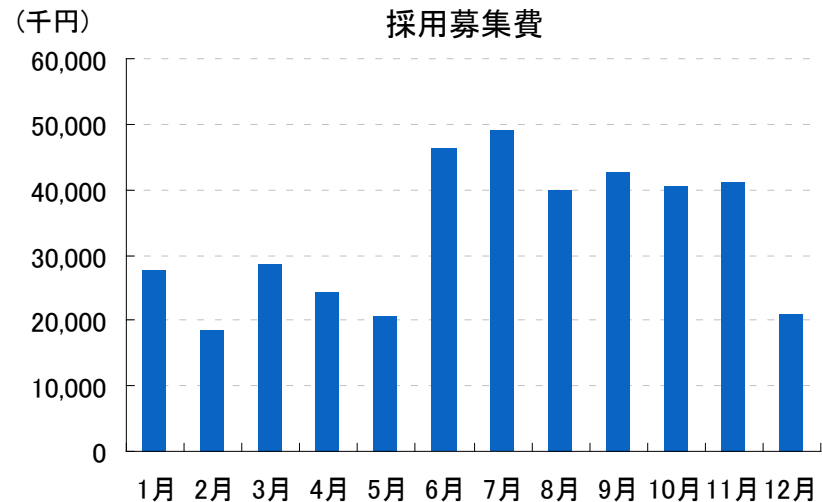
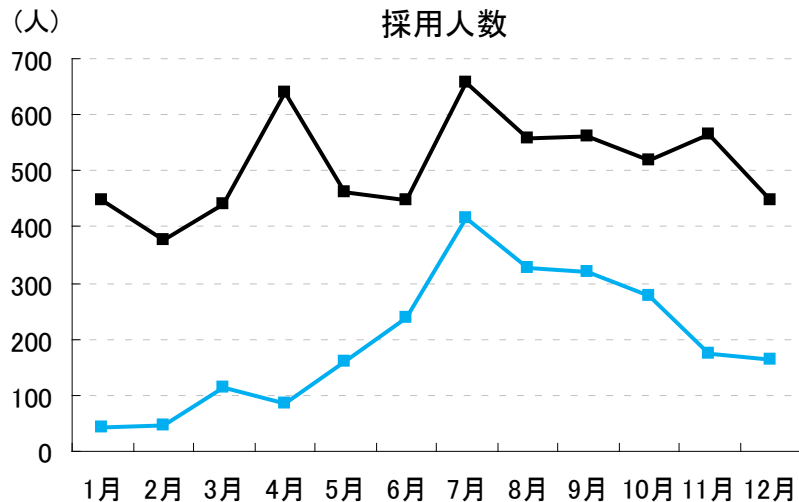
2011年12月期 連結業績予想の概要

(百万円)	2010年12月期 通期 実績		2011年12月期 上期(予想)		2011年12月期 下期(予想)		2011年12月期 通期(予想)		増 減 前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	28,386	100.0%	16,850	100.0%	23,150	100.0%	40,000	100.0%	11,614	40.9%
売上原価	22,378	78.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
売上総利益	6,007	21.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
販売管理費	4,834	17.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	1,173	4.1%	600	3.6%	1,200	5.2%	1,800	4.5%	627	53.5%
営業外収益	634	2.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
営業外費用	407	1.4%	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益	1,401	4.9%	650	3.9%	1,250	5.4%	1,900	4.8%	499	35.6%
特別利益	213	0.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	126	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	760	2.7%	350	2.1%	790	3.4%	1,140	2.9%	380	50.0%

参考資料

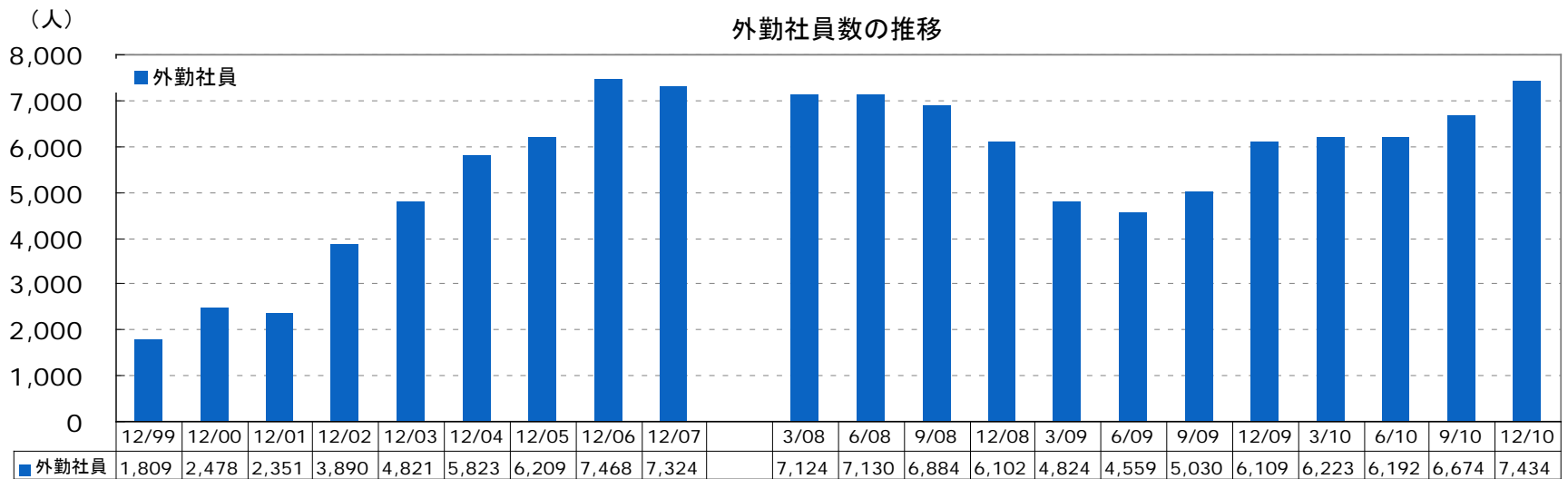


採用人数と採用募集費の推移(月次・連結)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2010年 外勤社員・派遣社員採用人数 (転籍含む)	448	376	439	640	461	447	658	558	560	519	564	447
2010年 有料職業紹介採用人数	41	46	114	86	160	239	416	327	319	278	173	162
2010年 採用募集費 (千円)	27,761	18,582	28,684	24,423	20,745	46,365	49,184	39,945	42,586	40,628	41,046	20,917

外勤社員・派遣社員数の推移(四半期・連結)



※ 外勤社員：顧客メーカーにおける現場作業従業員の総称で、稼働中の派遣契約社員も含まれます。

この資料には、当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。
従いまして、実際の業績などは、今後、様々な要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

株式会社 アウトソーシング!

経営企画室

TEL:054-266-4888 FAX:054-255-0009

E-Mail:os-ir@outsourcing.co.jp

URL:<http://www.outsourcing.co.jp>